

新たな福岡市立障がい者スポーツセンター 整備基本構想有識者会議

第2回会議資料

日時:令和8年8月6日(木曜日) 16時30分～
場所:福岡市健康づくりサポートセンター 視聴覚室A

次第

1 開会

- 2 議題
- ・基本理念・コンセプトについて
 - ・必要機能の整理、新施設における考え方について

3 事務連絡

4 閉会

1

開会

2

議題

(1)基本理念・コンセプトについて

基本理念

障がいのある誰もがスポーツを楽しみ、挑戦し、
誰もがスポーツを通じて交流する
インクルーシブなスポーツセンター

基本 コンセプト

①誰もが楽しめる場

障がいのあるすべての人にスポーツのきっかけを提供し、障がいの種別や程度にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる場となる。

②誰もが挑戦できる場

スポーツの継続から競技・大会まで、それぞれの目標や段階に対応できる環境を提供し、挑戦をサポートする。

③交流が生まれる場

スポーツを通じて、障がいの有無に関わらず様々な人の交流が自然に生まれる場となる。

④ネットワーク拠点

様々な団体や人がつながり、ネットワークを形成し、パラスポーツを推進する拠点となる。

(2)必要機能の整理、新施設における考え方について

○必要機能の整理

基本 コンセプト	目指す 方向性	必要と考えられる機能(想定される取組)	主な諸室イメージ
①誰もが 楽しめる場	裾野拡大 (ひろがる)	- きっかけ提供 (体験会、初心者教室等の開催、競技用具の貸出) - 広報 (施設内活動内容の情報発信)	- アリーナ* - 小体育館* - プール* - 卓球室、STT* - アーチェリー場* - トレーニング室* - 陸上練習スペース* - 観覧席 - 各用具保管庫 - 駐車場*
②誰もが 挑戦できる場	継続支援 (つづく)	- 日常的な練習、トレーニング・リハビリ機能 (定期教室、サークル活動の実施、記録会の開催) - 大会開催機能 - 指導者・ボランティア人材の確保	
③交流が 生まれる場	交流促進 (まじわる)	- きっかけ提供 (パラスポーツ体験会の実施、地域団体等との交流、 人が滞留する取組み) - 広報 (施設内活動内容の情報発信、啓発)	- 会議室* - 和室* - ラウンジ* - 産学連携室* - 多目的オープンスペース*
④ネットワーク 拠点	拠点 (つながる)	- 個人、団体等のネットワーク拠点 - 指導者・ボランティア人材の育成	
その他	- 医務室 ・ 相談室 ・ 多目的更衣室* ・ カームダウン室* ・ 授乳室* - バリアフリートイレ ・ エレベーター ・ 災害時備蓄保管庫		

*は、次頁以降にて新施設における考え方について記載。

(2)必要機能の整理、新施設における考え方について

○現諸室の現状と新施設における考え方

諸室	現状	新施設における考え方
アリーナ	バスケットボール1面 (バレーボール2面、バドミントン4面)	複数の競技や活動に利用できるとともに、各種大会への対応を想定する。
小体育室	ボッチャコート1面	ボッチャや軽スポーツ等の活動への対応を想定する。
プール	25m×6コース	健康増進のための水中運動から競技利用まで、様々な利用への対応を想定する。
トレーニング室	有酸素マシン6台、筋力トレーニング機器数台、ストレッチスペース(約8㎡)	障がい特性や利用目的に応じたトレーニングへの対応を想定する。
卓球室	一般用4台、STT1台	卓球やSTT等の活動への対応を想定する。
アーチェリー場	30m	アーチェリー活動への対応を想定する。
会議室(講習室・ボランティア室)・和室	10～28名程度	研修、会議、eスポーツ、文化活動等への対応を想定する。
ラウンジ	30名程度	休憩や飲食ができ、交流の場としての利用への対応を想定する。
多目的更衣室	1部屋	介助を含め、状況に応じた更衣への対応を想定する。
駐車場	35台(敷地内12台)	車いす使用者や団体利用を含め、駐車への対応を想定する。

(2)必要機能の整理、新施設における考え方について

○新規検討諸室と新施設における考え方

諸室	新施設における考え方
産学連携室	・ 大学や企業等との連携活動や情報交換等への対応を想定する。
多目的オープンスペース	・ 展示、体験、イベント、交流等の多様な活動への対応を想定する。
陸上練習スペース	・ ウォーキングやランニング等の基礎的な運動への対応を想定する。
カームダウン室	・ 静かに過ごし、気持ちを落ち着かせたい利用への対応を想定する。
授乳室	・ 授乳やおむつ替えへの対応を想定する。

*諸室については、現時点で整理したものであり、整備の可否等については、今後の建築条件、敷地条件等を踏まえ検討。

○全般

	新施設における考え方
全般	・ 情報保障、ユニバーサルデザイン等に留意し、利便性の向上を図る。

3

事務連絡

4

閉会